

登録No. R-016
 登録名 Pembrolizumab療法
 催吐性リスク 最小度
 適応疾患 非小細胞肺癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ペムブロリズマブ 生食	A : 200mg/body B : 400mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	インラインフィルター (0.2~5 μ m)使用

1クールの間 期間 A : 3週間、B : 6週間

標準クール数

最大クール数 PDまで

休薬期間の規定

投与間隔短縮の規定

その他（副作用・PS規定等）

注意が必要な副作用 間質性肺炎、大腸炎・重度の下痢、重度の皮膚障害、神経障害、肝機能障害、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害、1型糖尿病、腎機能障害、膵炎、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、心筋炎、脳炎・髄膜炎、infusion reaction、ぶどう膜炎、グレードにより再開、休止、中止規定あり
 G2のinfusion reactionが起きた場合は、本剤の投与を直ちに中止。
 1時間以内に回復する場合には投与速度を50%減速して再開。次回、投与時は規定の速度（30分）で投与可。
 注意点： 最終濃度は1~10mg/mLとする